



令和7年度における国分寺市の主な取組  国分寺市

子どもを育み 学びがつながるまち



子どもたちの育ちを応援する新たな取組(1/2)

認可保育所等への入所が待機となった児童を対象に、既存の保育所を活用しつつ、新たな事業を実施します。

■定期利用保育

【対象】1・2歳児の待機児童

【人数】各園10人

【場所】市立ひかり保育園・恋ヶ窪保育園

【内容】定期的な預かり保育

■ベビーシッター利用支援（4月スタート）

【対象】0～5歳児までの待機児童の保護者等

【内容】児童が保育所等に入所できるまでの間、都が認定するベビーシッター事業者を低額で利用できるよう支援



ひかり保育園



恋ヶ窪保育園

事業名称
予算額

定期利用保育事業	35,708千円
ベビーシッター利用支援事業	0円(令和8年度に事業費支払予定のため)

【問合せ】子ども家庭部 保育幼稚園課長 ☎ 042-312-8648・8649

子どもたちの育ちを応援する新たな取組(2/2)

■未就園児の定期的な預かり

さまざまな体験や経験を通じた子どもの健やかな成長、在宅子育て家庭の育児不安の軽減等、子育て支援の充実を図ります

【対象】保育所、幼稚園等を利用していない
主に0～2歳児

【実施施設】8園(予定)

【内容】保育所等での定期的な預かり

■認証保育所を認可保育所へ移行(3園目)

認可基準を満たすために既存施設を改修する費用を補助し、保育ニーズに沿う形で受入れ枠の確保を図ります



保育の様子

事業名称
予算額

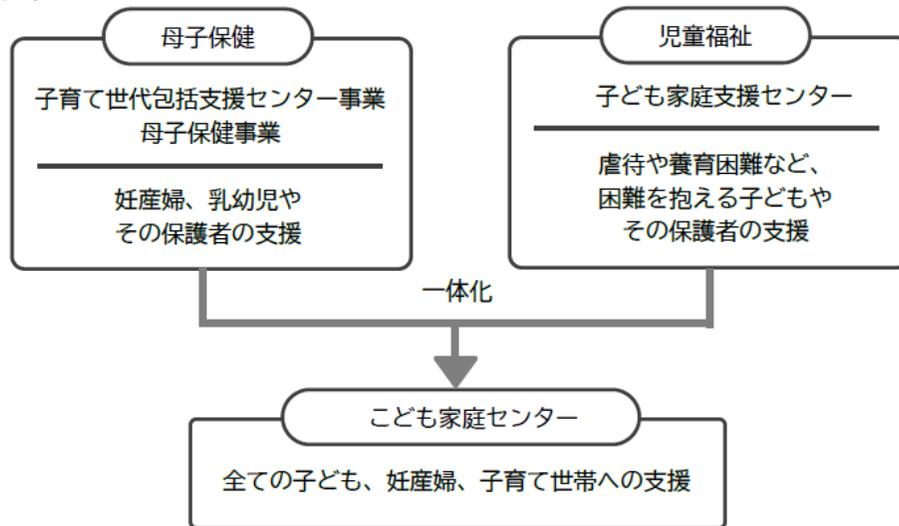
①未就園児の定期的な預かり事業	38,900千円
②認証保育所の認可保育所への移行支援事業	61,758千円

【問合せ】子ども家庭部 ①保育幼稚園課長 ☎ 042-312-8649 ②子ども若者計画課長 ☎ 042-312-8647

子育て支援の拠点 こども家庭センターを開設

すべての子ども、妊産婦、子育て世帯を対象に、継続的・包括的支援を行う機関として、いずみプラザ内に開設します。

子ども家庭支援センターが保健センター(母子保健)の機能と一緒にするため、保健師などのさまざまな専門職に相談できます。また、専門職の連携による、幅広いサポートが受けられます。



事業名称
予算額

こども家庭センター事業(児童福祉機能)	4,493千円
こども家庭センター事業(母子保健機能)	342,073千円
※その他各事務事業で予算計上	

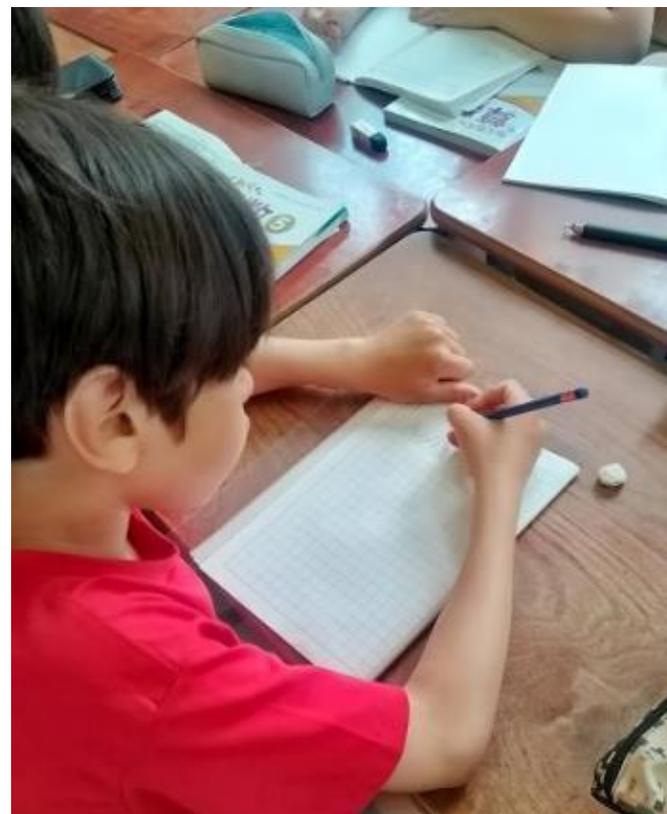
【問合せ】 子ども家庭部 子育て相談室長 ☎ 042-321-1801

子どもたちの学習環境の充実

小学校35人学級の全面実施や、児童・生徒数が毎年増加し続けている現状を踏まえ、第六・八小学校で、普通教室確保のための修繕を行います。

また、第三小学校では校庭の狭あい状況の解消のため、第六小学校では児童数の増加によって不足する普通教室等を補う増築棟の整備のため、老朽化した屋外プールとその附属棟の解体・撤去工事を行います。

その他、第二・九小学校の大規模改造工事や第一中学校の水飲栓直結工事等を実施し、児童・生徒が快適な学校環境の中で意欲的に学ぶことができるよう、施設整備に取り組みます。



事業名称 予算額	小学校の施設整備事業	275,382千円
	中学校の施設整備事業	68,106千円
	小学校35人学級施設整備事業(修繕等)	50,731千円
	小学校35人学級施設整備事業(工事)	147,310千円

【問合せ】 教育部 教育総務課長 ☎ 042-312-8660

伸びやかに過ごせる学童保育所を目指して

民設民営学童保育所の誘致を引き続き行い、第五・八小学校区では公設民営学童保育所の整備を進めることで、学童保育所の狭あいを解消します。

■民設民営学童保育所整備

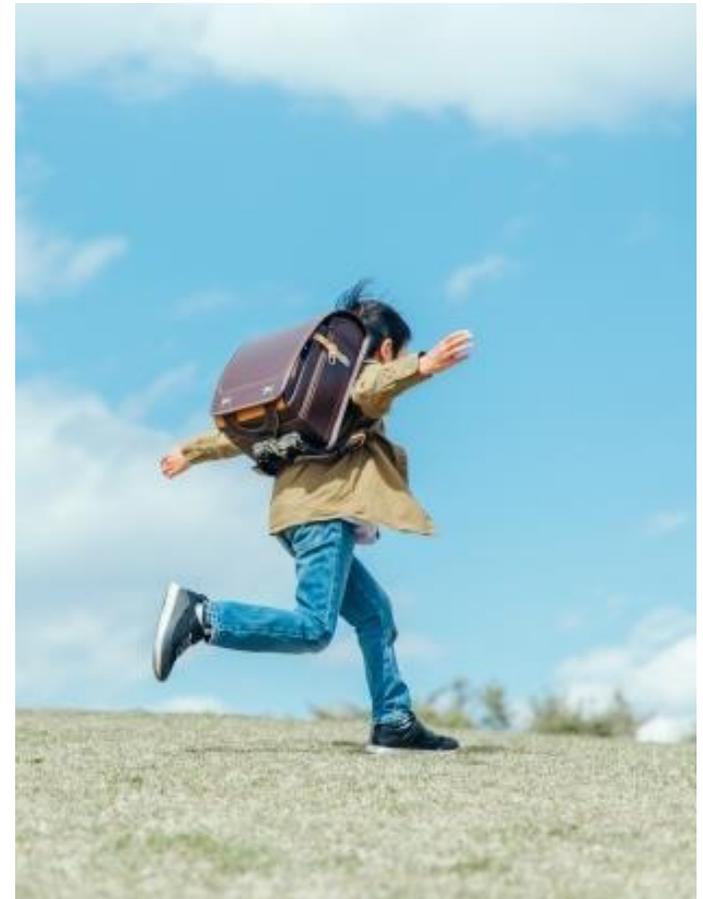
「国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画」に基づき、民設民営学童保育所を2施設整備(各施設定員40人)

■市立第五小学校区学童保育所設置

令和8年4月開所に向け、(仮称)国分寺市立第四日吉町学童保育所設置工事を実施(定員30人)

■市立第八小学校区学童保育所設置

令和8年12月開所に向け、(仮称)国分寺市立第二・三西町学童保育所設置工事を実施(定員80人)



事業名称
予算額

民設民営学童保育所整備事業(施設整備)	27,513千円
市立第五・八小学校区学童保育所設置事業	125,362千円

【問合せ】 子ども家庭部 子ども若者計画課 ☎ 042-312-8647

中学校部活動の地域連携・地域移行を推進

市立中学校部活動地域連携・地域移行推進計画に基づき、部活動(運動部・文化部)の地域連携・地域移行を段階的に進めます。

このことで、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の機会を確保し、部活動に携わる教員の負担を軽減します。

【内容】

- ・地域の団体が休日の部活動を担う地域移行を、令和7年度は2団体で開始(野球、吹奏楽・合唱)
- ・学校と関係団体との連絡調整等を行う、部活動コーディネーターが活動を開始
- ・地域連携・地域移行を進めるにあたっての課題等を、外部人材も含めて協議する会議を設置



事業名称
予算額

中学校部活動地域連携・地域移行事業 6,375千円

【問合せ】教育部 社会教育課長 ☎ 042-312-8654

次世代教育系システムへのリプレースを継続推進

令和6年度に公募型プロポーザル方式で選定した事業者が、令和7年度に次世代教育系システムを構築します。

令和8年度から新たに稼働予定の同システムでは、次期GIGA端末を都内複数の基礎自治体との共同調達で、現行よりも高スペックなものを低コストで調達するとともに、校内等のネットワーク速度を增強し、学習支援ソフトをさらに快適に活用できるよう整備することで、子どもたちの学習環境の拡充を図ります。

さらに、フルクラウド化によるロケーションフリーな環境を整備することで、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を実現し、子育てや介護をはじめとする教員のライフスタイルの変化にも対応します。



事業名称
予算額

学校ICT環境整備事業(次世代教育系システムへのリプレース) 1,363,815千円
(令和7~12年度の総事業費 5,424,350千円)

【問合せ】 教育部 教育総務課長 ☎ 042-312-8660

活気あふれる成長のまち



タツノコプロ×国分寺市 ～アニメの魅力で地域活性化～

【実施時期(予定)】8月以降適宜

【内容(予定)】

- ・タツノコプロのアニメキャラクターの車両ラッピング
- ・タツノコプロゆかりのアーティストライブや着ぐるみイベント
- ・旧庁舎仮囲いをつかったアートギャラリー
- ・商店会と連携したスタンプラリーや商品販売 など

【協力企業等(予定)】

国分寺マルイ、セレオ国分寺、西武鉄道、
国分寺市商工会、こくぶんじ観光まち
づくり協会等



©タツノコプロ

事業名称
予算額

アニメ等コンテンツを活用したまちの魅力発信事業 7,500千円

【問合せ】政策部 市政戦略室長 ☎ 042-312-8700

観光DX ～ 武蔵国分寺僧寺・VR/AR体験アプリ制作 ～



CGで歴史的建築物を再現



ボイスナレーター・外国語対応・
記念撮影機能など



スマートフォン・タブレット・
ゴーグルで誰でも視聴可能



市の魅力発信・誘客促進

事業名称
予算額

史跡武蔵国分寺跡 VR・AR体験アプリ制作事業 11,000千円

【問合せ】政策部 市政戦略室長 ☎ 042-312-8700

ペンシルロケット水平発射実験から70年



70周年記念マンホール(令和6年度設置)



60周年の際に里帰りしたペンシルロケット実機

昭和30年(1955年)4月12日、日本で初のペンシルロケット水平発射実験が国分寺の地で行われてから70周年を迎えます。

ペンシルロケット試射に携わった方々の業績を振り返り、若い世代と子どもたちに、その志を伝えます。

■ペンシルロケット水平発射実験70周年記念式典

【日程】4月12日(土) 【場所】いずみホール

【内容】市民・関係者へ向けての講演会、パネルセッション

■ペンシルロケット水平発射実験70周年記念 企画展

【日程】3月21日(金)~4月12日(土)

【場所】市役所 多目的スペース

【内容】ペンシルロケット実機等

■70周年記念デザインマンホールカードの制作

【配布時期】12月 【配布場所】未定

【配布枚数】2ロット4,000枚

事業名称
予算額

ペンシルロケット水平発射実験70周年事業 1,320千円

【問合せ】市民生活部 文化振興課長 ☎ 042-312-8610

新たな国分寺市史編さんに向けて

市制施行60周年を迎えた令和6年度から、新たな国分寺市史の編さん事業に着手しています。令和7年度も、市域の歴史に関わる資料を収集・調査し、歴史講演会等を通じて市民理解を深めます。

- ・3つの専門部会(原始・古代・中世部会、近世・近現代部会、現代市制部会)の調査活動(通年)
- ・歴史講演会(11月頃)・歴史講座(1～3月頃)等の開催
- ・国分寺市史研究(創刊号)、ニュース・レター(3・4号)の制作・発行
- ・旧市史編さん室発行の『国分寺史料目録』のデジタル化・HP公開
- ・未整理古文書の殺虫処理及び初期保存対策、目録作成業務
- ・小学3年生社会科副読本『わたしたちの国分寺』制作協力(学校指導課所管)



歴史講座「資料編さん事業がもたらすもの」
専門部会長・前教育委員・市民協力員による
トークセッション「地域で歴史を学ぶこと」



新庁舎落成式典等記念事業に伴うパネル展示
「資料でたどる国分寺のあゆみ～村から町へ、そして市制の誕生」
市民協力員による制作協力・展示解説



事業名称
予算額

国分寺市史編さん事業 14,976千円

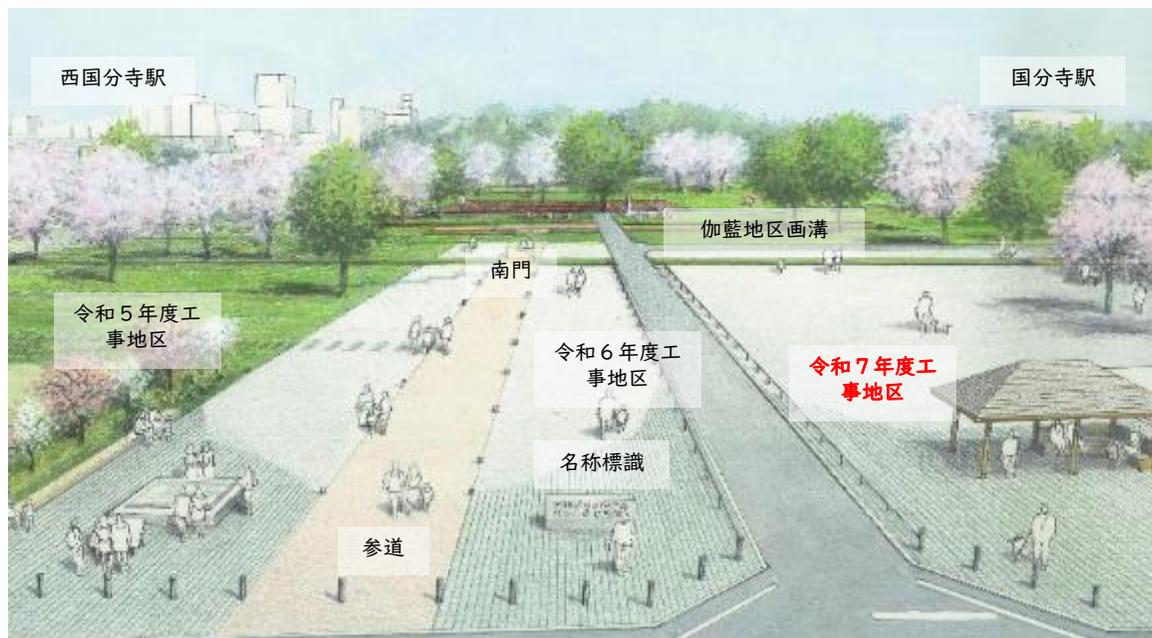
【問合せ】 教育部 市史編さん室長 ☎ 042-571-7815

史跡 武蔵国分寺跡(僧寺南門地区)整備工事の完了

令和4年度に開始した武蔵国分寺跡(僧寺)の南門地区の整備工事は、令和7年度で完了します。

令和7年度の工事では、区画溝など遺構の復元のほか、大型の四阿(あずまや)の設置や古代に由来のある樹木の植栽等を行います。

歴史学習の場や市民の憩いの場として利用できる、市のシンボリックな公園となるよう整備するとともに、僧寺寺院地内の公園事業用地の公有化を進めます。



事業名称
予算額

史跡武蔵国分寺跡公園整備事業	225,756千円
史跡武蔵国分寺跡公園用地買収事業	289,803千円

【問合せ】 教育部 ふるさと文化財課課長 ☎ 042-300-0073

自分らしくいきいき暮らせるまち



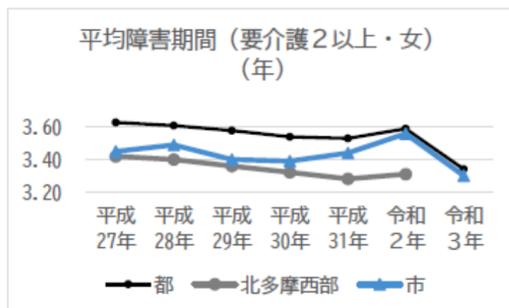
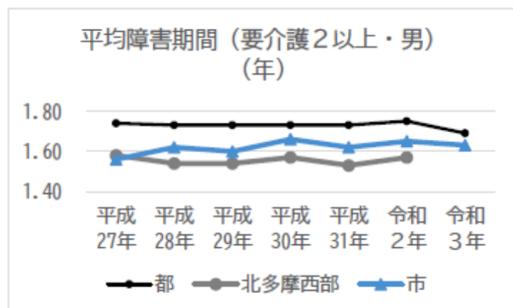
「健康ポイントアプリ」でちょっとお得に健康づくり

市民の健康行動を促すことを目的に導入します。ポイントによる特典を得られ、ちょっとお得に健康づくりへ取り組みます。

- ・アプリに登録し、歩数やイベントへの参加等に応じて、ポイントを貯める
- ・貯めたポイントでアプリ上で電子マネー等の特典を獲得
- ・東京都が実施する「とうきょう健康応援事業」と連携し、都WEBサイトで追加の特典(優待カード、ポイント)を獲得

<参考>

「第2次健康増進計画」の計画成果指標のひとつに「平均障害期間(不健康期間)の短縮状況」を定め、短縮を目指しています(出典:「第2次国分寺市健康増進計画」)



すべての人がいきいき健やかに暮らせるまち 国分寺



事業名称
予算額

健康ポイントアプリ導入事業 5,829千円

【問合せ】健康部 健康推進課長 ☎ 042-312-8627

認知症予防の普及啓発と認知機能チェックの実施

令和6年1月施行の『共生社会の実現を推進するための認知症基本法』に基づき、認知症予防に関する普及啓発や、認知症の早期支援・早期診断に向けた取組を推進します。

■認知症予防に関する普及啓発イベント

【日程】9月(認知症月間)

【内容】認知症予防普及啓発講演会・イベント

■市内公共施設等6か所で「あたまの健康チェック」

【対象】50歳以上

【内容】若い世代や物忘れの症状がなくても、チェック可能な認知機能スケール「あたまの健康チェック」を実施

※場所等の詳細は市報・市ホームページ・チラシ等で周知予定



「認知症サポーターキャラバン」マスコットキャラクター ▶



事業名称
予算額

認知症予防普及啓発事業 14,521千円

【問合せ】福祉部 地域包括ケア担当課長 ☎ 042-312-8641

「ひとりではない」と思えるプラットフォーム

交流会を通じ、当事者、経験者、家族、支援に関わっている方を支援する体制を整えます。

対象となる方が交流会に参加しやすい環境を整備し、参加自治体との連携を図り、更なる事業を推進します。

【対象】生きづらさを抱え、人との関係に難しさを感じ、ひきこもりがちな方々

【日程】10月23日(木)(予定)

【場所】cocobunjiプラザ

※参加自治体が連携し、各自治体で実施(年11回予定)



事業名称
予算額

ひきこもり支援事業 251千円

【問合せ】福祉部 生活福祉課長 ☎ 042-312-8635

障害者支援施設等から地域生活への移行を促進

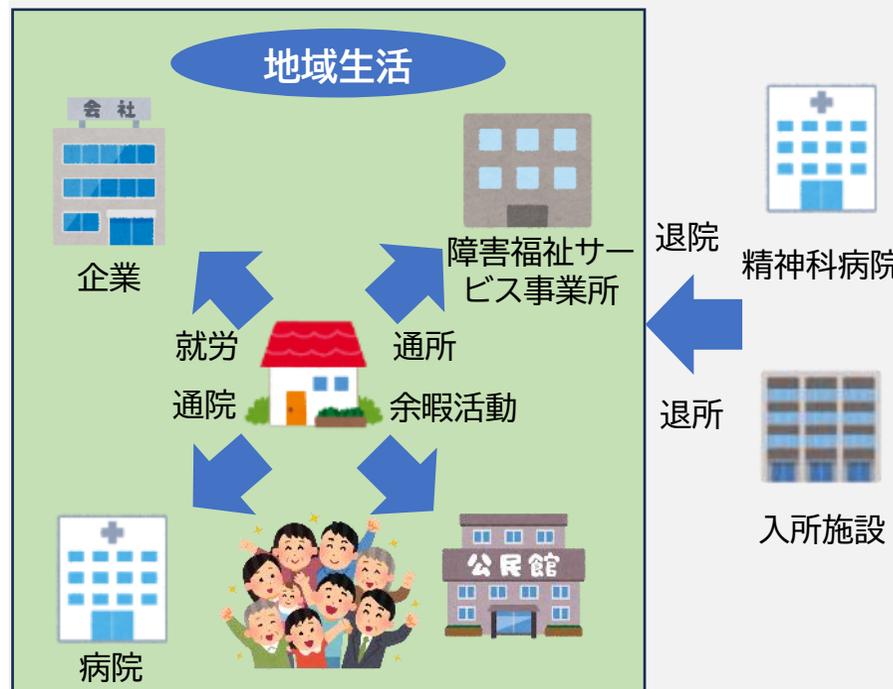
障害者支援施設や精神科病院等から地域生活への移行を促進し、自宅や住み慣れた地域のグループホーム(GH)等で安心して生活するための取組を推進します。

相談支援事業者へ関係機関と連携して取り組むための経費を補助し、地域移行に向けてきめ細やかに支援します。

【取組内容】

- ・障害のある方の心身の状況や置かれている状況、サービス利用に関する本人意向の把握
- ・サービスの利用に関する施設や親族との調整
- ・施設の退所や精神科病院の退院に伴うサービス利用に関する事前調整 等

【地域生活への移行のイメージ】



事業名称
予算額

特定相談・一般相談連携機能強化支援事業 1,008千円

【問合せ】福祉部 障害福祉課長 ☎ 042-312-8629

成年後見制度申立ての費用助成を新規に開始

高齢化の進行、介護する親族の高齢化、制度の理解・普及により、需要が高まっています。

成年後見制度の円滑な利用を図るため、必要とする方への助成を拡充します。

【助成内容】

- ・成年後見制度申立ての費用助成(新規)
- ・本人・親族等が申立人となった場合の、後見人等の報酬助成(拡充)

※所得要件あり



事業名称
予算額

- | | |
|-------------------|---------|
| ①【障害】成年後見制度利用支援事業 | 1,185千円 |
| ②【高齢】成年後見制度利用支援事業 | 3,944千円 |

【問合せ】①福祉部 障害福祉課長 ☎ 042-312-8629 ②福祉部 地域包括ケア担当課長 ☎ 042-312-8641

原爆投下から80年を迎えて

令和7年度は、原爆投下及び終戦から80年の節目となる年です。非核平和都市を宣言する本市では、毎年実施している事業に加え、さらに平和への意識醸成を図る取組を行います。

■ピースメッセンジャー広島派遣

若い世代へ思いをつなぐ平和学習を引き続き実施
【日程】7月30日(水)～8月1日(金)

■現庁舎での初の平和祈念式

現庁舎へ移設した平和の灯・嘉代子桜・被爆樹木二世のアオギリ等を生かした平和祈念式を実施
【日程】8月15日(金)

■(仮称)平和サミットの開催

「平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク」
加盟自治体の多摩地域26市が連携し開催
【日程】令和8年2月15日(日)
【場所】パルテノン多摩



令和6年度ピースメッセンジャー



現庁舎に移設された平和の灯

事業名称
予算額

平和推進事業 1,883千円

【問合せ】市民生活部 人権平和課長 ☎ 042-312-8693

安心・安全で快適なまち



災害に強いまちを目指して

自助・共助・公助を強化し、防災力の向上を図ります。

■家庭用防災用品購入費補助

災害時に在宅避難を選択できるよう、家庭での備蓄を促進

【対象】令和5・6年度に申請をしていない世帯

【期間(予定)】6月1日(日)~12月31日(水) 【補助率】2分の1

【上限額】1世帯 5,000 円

■防災まちづくり推進地区への支援

南町一丁目自治会地区(防災まちづくり推進地区第16号地区)に防災コンサルタントを引き続き派遣し、災害危険地図を地域住民と共に作成

■内藤一丁目防災備蓄倉庫借上

防災備蓄品の拡充に対応するため、約60㎡の防災備蓄倉庫を設置

■同報系防災行政無線デジタル化整備

同報系防災行政無線の屋外拡声子局のデジタル化と、音達範囲の拡充につながる配置等を見直す設計を実施



事業名称 予算額	家庭用防災用品購入費補助事業	5,187千円
	防災まちづくり推進地区への支援事業	3,520千円
	内藤一丁目防災備蓄倉庫借上事業	1,837千円
	同報系防災行政無線デジタル化整備事業	15,433千円

【問合せ】総務部 防災安全課長 ☎ 042-325-0124

市民の生命と財産を守るために～住まいの防犯力向上～

「闇バイト」による住宅強盗事件が全国的に発生しています。犯罪の手口が巧妙かつ凶悪化している中、安全な生活環境を確保するため、住まいの防犯対策を強化する防犯用品の購入費の一部を補助します。

【対象(予定)】住まいの防犯対策を強化する防犯用品

カメラ付きインターホン、防犯カメラ(ダミーカメラ含む)、人感センサーライト・アラーム、補助錠、防犯フィルム・ガラス・面格子、防犯砂利、迷惑電話防止機能付固定電話器、その他住まいの防犯対策に有効性があると判断されるもの

【期間(予定)】6月1日(日)～12月31日(水)

【補助率】2分の1

【上限】1世帯10,000円



事業名称
予算額

住まいの防犯用品購入費補助 11,758千円

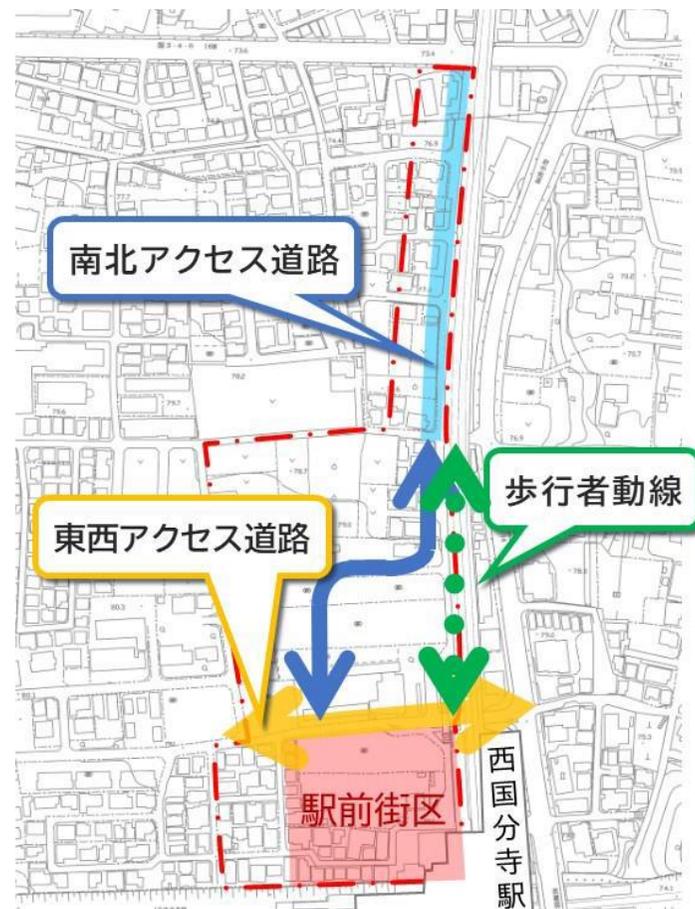
【問合せ】総務部 防災安全課長 ☎ 042-325-0124

西国分寺駅北口 駅前エリアの整備

令和6年度は、関係権利者とともに土地利用等に関する勉強会を実施するなどして、駅前へのアクセス道路等の都市基盤整備と都市計画変更に向けた具体的な検討を進めました。

令和7年度は、関係権利者との協議を踏まえ、街区整備案と事業フレームの検討や関係機関との協議を進めることで、都市基盤整備と都市計画変更に向けた具体的な検討をさらに進めます。

引き続き、関係権利者と丁寧に意見交換しながら、関係権利者による組織化を進めることで、整備の早期実現を目指します。



事業名称
予算額

西国分寺駅北口駅前エリア整備事業 25,570千円

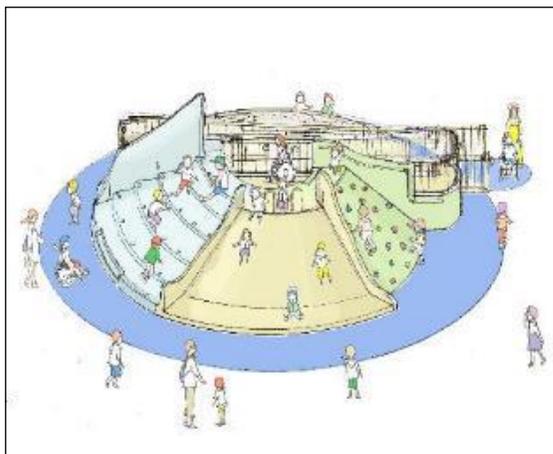
【問合せ】 まちづくり部 駅周辺整備課長 ☎ 042-312-8662

誰もが楽しめる黒鐘公園に

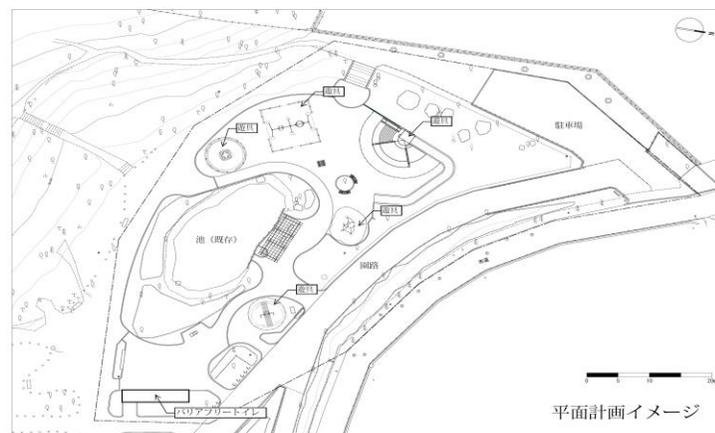
都が所有していた黒鐘公園を市有地化することで、新たな整備が可能になりました。

令和7年度は、令和6年度に実施した市民懇談会及び遊具アンケート等を参考とした設計を踏まえ、公園の一部を活用し、新たに、誰もが楽しめるインクルーシブな遊具、これまでのトイレより機能を充実したバリアフリートイレ、車椅子利用者用駐車場を整備し、さらなる公園の利便性の向上を図ります。

既存の緑をできる限り活用し、国分寺崖線の南側に位置する自然豊かな環境に配慮した整備を行います。



設置遊具イメージ



平面計画イメージ

事業名称
予算額

黒鐘公園整備事業 559,621千円
(令和7~9年度の総事業費 1,340,653千円)

【問合せ】建設環境部 緑と公園課長 ☎ 042-312-8677

憩いの場となる緑地・スポーツ施設の整備

■新町一丁目緑地

都市計画緑地としての整備に向け、令和7年度は都市計画区域の一部の用地を取得します。また、令和8年度以降の設計・整備の参考とするため、市民懇談会で意見を聴集します

■西町五丁目緑地

令和8年度以降の用地取得・設計・整備に向け、令和7年度は市民懇談会や都市計画審議会、都との協議等を踏まえ、都市計画を決定します

■市民戸倉第一テニスコート

現在のテニスコート2面の設備を4面に拡充し、市民がスポーツをする環境の整備を進めます



既存の新町一丁目緑地

事業名称
予算額

①新町一丁目緑地整備事業	255,647千円
②市民戸倉第一テニスコート整備事業	19,316千円

未来につながる持続可能なまち



恋ヶ窪駅周辺のにぎわいの維持・向上(旧庁舎用地に地域振興拠点整備)

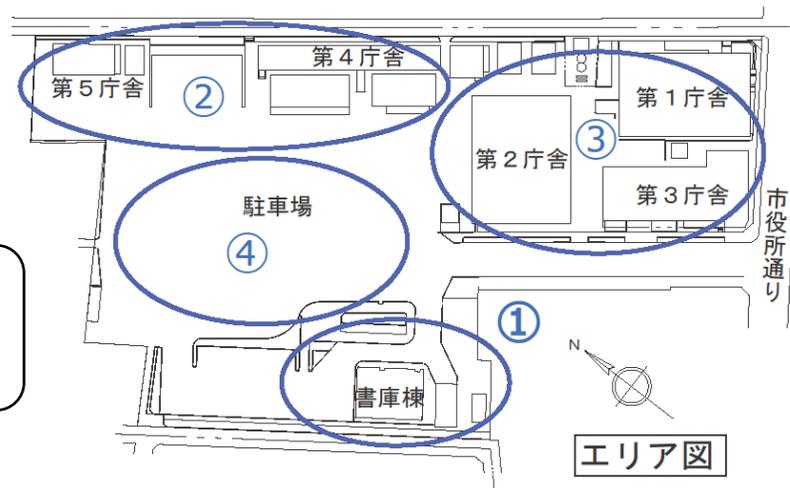
■旧庁舎等解体工事

【スケジュール(予定)】

令和6年11月～令和7年2月 近隣家屋調査
 令和7年1月～令和8年11月 工事

○作業の流れ(予定)

①旧書庫棟エリア → ②旧第4・5庁舎エリア
 → ③旧第1・2・3庁舎エリア → ④駐車場エリア



■旧庁舎用地の利活用

複合公共施設・民間施設整備の事業手法は官民一体発注方式、複合公共施設の整備はDB方式です。また、民間活用事業には、周辺地域のにぎわいの創出につながる提案を求めます

【スケジュール(予定)】

令和7年4月	公募開始
令和7年10月	事業者選定
令和7年度～10年度	実施設計・工事・工事監理
令和10年度	供用開始



書庫棟解体工事の仮囲い状況(令和7年1月17日時点)

事業名称
 予算額

令和7年度 解体、設計・CM(コンストラクション・マネジメント) 439,998千円
 (令和8～10年度 設計・工事・工事監理・CM 7,743,145千円)

【問合せ】政策部 公共施設マネジメント課長 ☎ 042-325-0114

ゼロカーボンシティの実現に向けた再エネ・省エネ促進

ゼロカーボンシティの実現に向けて、地域の更なる再生可能エネルギー導入拡大と建物の省エネルギー化の促進を図ります。

①住宅・事務所等(新規)の設備機器導入に補助

・住宅・事務所等(既存・新築)

蓄電池システム 60,000円、家庭用燃料電池 60,000円

・住宅・事務所等(既存のみ)

太陽光発電設備 1kWにつき30,000円(上限150,000円)

高断熱窓 設置費用の8分の1に相当する額
(上限80,000円)[新規]

②公共施設への再生可能エネルギー電力の導入

・競り下げ方式のリバースオークションを活用して再エネ電力の調達価格を抑制

※令和7年1月20日にリバースオークションを実施している(株)エナーバンクと連携協定を締結



市役所屋上の太陽光発電設備

事業名称
予算額

ゼロカーボンシティの実現に向けた再エネ・省エネ促進事業 39,050千円

行かない市役所・書かない市役所

市民の利便性向上と行政業務の効率化を同時に実現し、デジタル時代に即した行政サービスの提供を目指し、9月から準備を開始します。

■対面や書面を中心とした現在の行政手続のオンライン申請(予定)

- ・保育施設に関する手続 (12手続)
- ・学童保育に関する手続 (19手続)
- ・国民健康保険に関する手続 (4手続)
- ・後期高齢者医療に関する手続 (3手続)

■BPR(業務プロセス再構築)

子育てや福祉に関する窓口業務から、市民の申請受付から職員の業務システムへの入出力をデジタル化できるよう、段階的に取り組みます

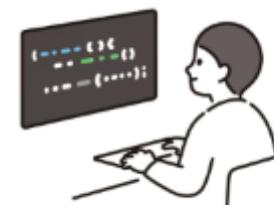
手続オンライン化



業務効率化

より便利に！

よりスピーディーに！



事業名称
予算額

行政手続オンライン化推進支援業務委託事業 26,400千円

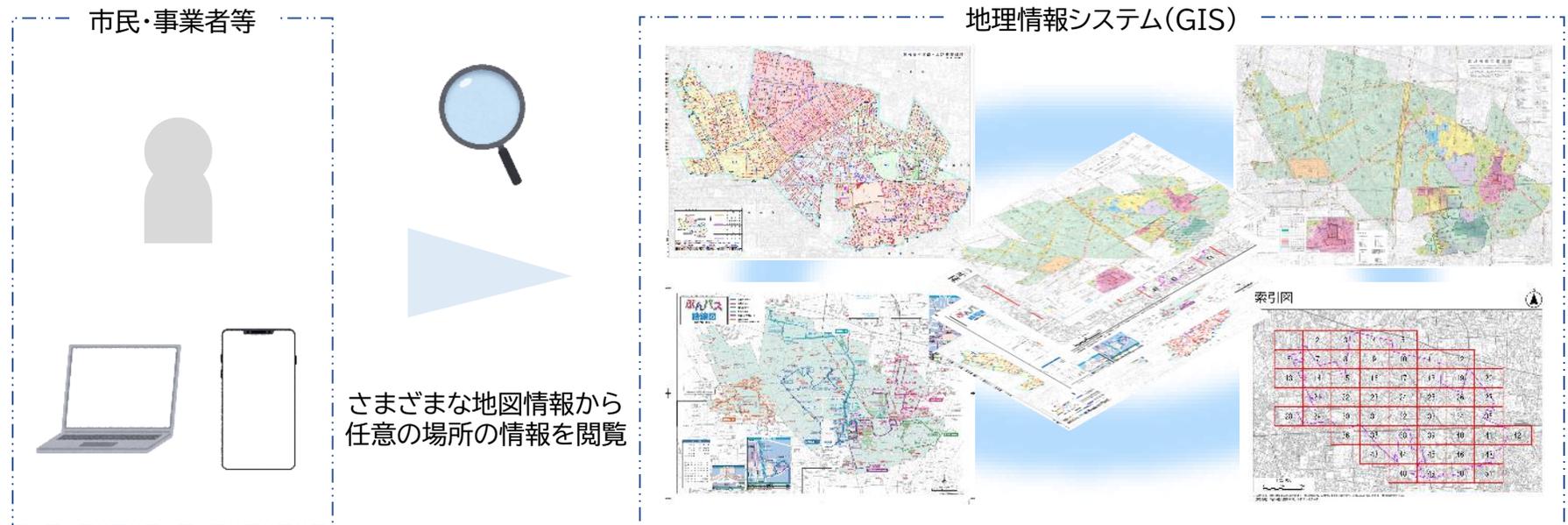
【問合せ】 政策部 デジタル行政推進室長 ☎ 042-312-8704

誰もが簡単に閲覧できる地理情報システム(GIS)

都市計画や道路等の地図に関する行政情報が統合されたプラットフォームを整備します。

PCやスマートフォン等の端末から、誰もが簡単に手軽に情報を閲覧・取得できるため、市民・事業者等が地図情報を得るための来庁頻度が削減され、利便性が向上します。

また、場所の検索や印刷、画像・図面等の添付による詳細情報の表示も可能となり、幅広いシーンで情報を活用できます。利用開始は令和8年3月を予定しています。



事業名称
予算額

地理情報システム(GIS)導入・運用事業 82,830千円

【問合せ】 まちづくり部 まちづくり計画課長 ☎ 042-312-8664

恋ヶ窪市民サービスコーナーを開設

旧庁舎の近隣住民に対する市民サービス維持のため、旧庁舎用地に複合公共施設が完成するまでの期間、西恋ヶ窪に市民サービスコーナーを開設します。

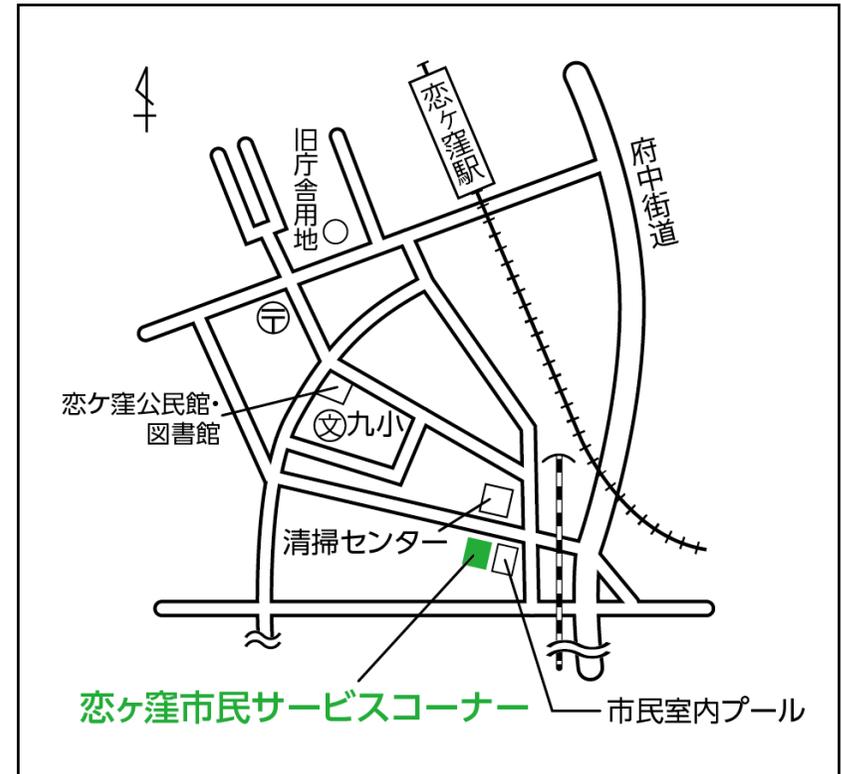
【開設時期】 令和7年6月～令和10年度(予定)

【開設場所】 西恋ヶ窪3-33-3 市役所第6庁舎1階

【開庁時間】 8:30～17:00

※土日祝日・振休、年末年始(12月29日～1月3日)を除く

【取扱業務】 住民票、戸籍に関する証明書等、課税・非課税証明書等の税証明書の交付



事業名称
予算額

①恋ヶ窪市民サービスコーナー設置事業 3,707千円

②第3期基幹系システム導入・運用委託事業(恋ヶ窪市民サービスコーナー整備) 8,640千円

【問合せ】 ①市民生活部 市民課長 ☎ 042-312-8603 ②政策部 デジタル行政推進室長 ☎ 042-312-8704